

## 会議録

会議の名称	令和7年度第5回西東京市立保谷第一小学校建替協議会
開催日時	令和7年11月20日(木曜日)午後5時から
開催場所	防災センター6階 講座室2
出席者	<b>【委員】</b> 原会長、高橋副会長、稲澤委員、中野委員、阿部委員、笹森委員 牛村委員、倉内委員、伊藤委員、藤江委員 （欠席）児玉委員、吉村委員 <b>【事務局】</b> 飯島副参与兼教育企画課長、鈴木教育企画課企画調整係長 浅水教育企画課企画調整係主任、木藤教育企画課企画調整係主事 <b>【傍聴人】</b> 0人
議題	議題1 第3回会議の会議録について 議題2 将来像・建替えコンセプトについて（グループワーク） 議題3 整備諸室等について 議題4 校庭・プールの利用について 議題5 その他
会議資料の名称	資料1 保谷第一小学校の将来像・建替えコンセプトの検討について 資料2 保谷第一小学校建替え後の必要諸室等一覧(案) 資料3 保谷第一小学校建替えに伴う校庭・プールの利用について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

### 会議内容

<開会>

議題1 第3回会議の会議録について

第3回会議の会議録内容について、各委員に異議がないことを確認し、承認。

議題2 保谷第一小学校の将来像・建替えコンセプトの検討について

○事務局

（資料1について説明）

○会長

事務局より説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。

（意見・質問なし）

○会長

それではグループワークにて検討を行う。

○グループワーク(保谷第一小学校の将来像・建替えコンセプト) 発表

**【A グループ】**

将来像 みんなの学校

建替えコンセプト

1. 「子どもたちが安心して学び遊べる学校」

(校庭等)

- ・フラットで広い校庭
- ・ターザンロープ、ボルダリング

(校舎内)

- ・音響設備、ダンス鏡、スラックラインが設置できる設備、テレビゲームができる環境
- ・教職員が休める場所
- ・多目的に使える小ホール
- ・エレベーター（怪我したとき用）
- ・掃除しやすいトイレ
- ・年間の発達に応じたアレンジができる校舎
- ・低学年の子どもが安心して生活できる設備
- ・地域に開かれた小学校と防犯面の強化、安心安全
- ・職員室や事務室の位置を入校者が見える場所に配置

2. 「地域と共にある学校」

- ・放課後に子どもたちがおやつを食べられる環境、売店など
- ・一人で家にいることがないように遊びの場として常時開放
- ・PTA や運協の方々が使える Wi-Fi
- ・ネットワーク・交流＋自治（CS）の拠点
- ・年配の方々とより多く触れ合う機会の創出
- ・子どもたちの将来の夢につながっていくよう、いろいろな経験ができる環境

3. 「災害時にも安心して過ごせる学校」

- ・災害時の脱出用すべり台
- ・避難生活と教育活動を両立できるようにゾーニング

4. 「未来の学びをサポートする学校」

- ・プロジェクター、スクリーン設備
- ・探究的な学びのための広い図書室
- ・共有スペース、交流スペース（学年、教科等で集まり、語り合えるスペース）
- ・授業間に移動しやすい教室配置
- ・教師が働きやすい学校
- ・専門職として力を十分に発揮できる教室や設備
- ・明るく快適な職員室
- ・教師にとって働きやすい学校→教師になりたい人を増やす

5. 「環境を意識した持続可能な学校」

- ・森やビオトープなど年々変化していくエリア
- ・近隣保育園と共有する畑→一緒に生育に関われる場所

【B グループ】

建替えコンセプト

1. 「子どもたちが安心して学び遊べる学校」

(校庭等)

- ・ピョンちゃんを中心とした遊びのスペース（ベンチ、花壇など）
- ・静かに過ごせる、低学年が安心して遊べる庭、芝生
- ・屋外の木のエリアに小さなアスレチック（ボルダリング、高さのある遊具）
- ・地域を眺めることができる安全な屋上、富士山が見えるスペース

(校舎内)

- ・木のぬくもりのある広々としたラウンジ、ピロティ
- ・生徒が使いやすく、掃除がしやすいロッカー
- ・校庭につながるクールダウンスペース
- ・汚れが目立たない色や素材の床
- ・学年を超えて交流できるスペース

## 2. 「地域と共にある学校」

- ・学童に通う児童以外にも放課後に過ごすことができる空間、放課後自由学習スペース
- ・地域の大人が宿題を手伝う
- ・水田、バケツ稲作の大きい Ver
- ・野菜販売所、農園、調理室を地域交流スペースとして連続させる
- ・緑化スペースを学校農園にして学習&交流
- ・おむつ替えや授乳がしやすい部屋
- ・子ども食堂
- ・西東京市のことを知ることができる行政コーナー
- ・地域住民のための相談コーナー
- ・地域交流室（地域住民が日常過ごせる部屋）
- ・学校からのお知らせがわかるシステム

## 3. 「災害に備えた安心安全な学校」

(校庭等)

- ・必要に応じて利用できるトイレを校庭に設置
- ・伏見通り側から大型トラックが侵入できるように整備

(校舎内)

- ・広い廊下（特に1Fやアリーナ周辺）、災害時にブルーシートが敷ける通路幅
- ・避難所となる体育館の床は多少クッション性のある素材に
- ・アリーナ付近にマンホールトイレ
- ・アリーナ壁面をガラスの引き戸にして非常時の導線確保
- ・災害時に近隣住民が解錠できるような設備

## 4. 「未来の学びをサポートする学校」

- ・教室の外にも学習スペースを設置
- ・寝ころびながら本を読める空間（床が温かい、本を楽しく読める工夫など）
- ・デジタル黒板、大型モニターが見やすい設計
- ・チャレンジルーム、保健室、図書室など、不登校児童が学べる場
- ・一人一台端末、各教室にタブレット保管庫
- ・各学年3年生以上は、通常教室に加えて少人数指導ができる教室を一部屋追加

## 5. 「環境を意識した持続可能な学校」

- ・自然光が入る吹き抜け
- ・パッシブデザイン、明るい学校、明り取り窓
- ・子どもたちが、自分の行動が未来につながるとSDGsを学べる創意工夫

### ○事務局

後日、建替えコンセプト等について、皆様から意見を寄せられる機会を設ける。

### 議題3 整備諸室等について

○事務局

(資料2について説明)

○会長

事務局より、整備諸室等について説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。

○委員

中原小学校では、特別支援学級専用の校庭が通常級の子ども用とは別にある。特別支援学級の子どもは、職員の目が届く範囲で遊ぶという学校もあるが、新しい学校では、校庭は分けて設置することを考えているのか、それとも一つの校庭で対応する想定か伺う。

○事務局

校庭の使い方については、ご意見をいただきながら考えていきたい。教育計画では、インクルーシブ教育を推進する考えと、個人に応じた必要な支援を行っていく考えがある。特別支援教育に関する考え方については、現在教育委員会内で検討しているため、それらを踏まえ整理していきたいと考えている。

○委員

特別支援学級の子どもが安全に遊べる場所が必要と考えるが、校庭で皆と遊ぶ子や一人で遊ぶ子など様々いる中で、特別支援学級の子どもが決められた場所でしか遊べない運用は望ましくないと感じる。子どもたちに合わせた様々な空間を、アクセス性も含めて創っていく必要がある。

○事務局

先ほどのワークショップでもピョンちゃんを中心に憩える場所のご意見があったが、今後、緑化の部分を検討していく中で、様々な子どもが状況に応じて過ごせるような環境を創っていくと考えたい。

○事務局

前回の会議で、外国語教室の必要性についてご意見をいただき、教育委員会の担当部署に確認した。現時点では、市内の公立小学校で英語指導専用の教室を設置している学校はなく、新設していく予定はないが、今後、学習指導要領の見直しの状況を注視しながら検討していきたいと考えている。

また、今回の一覧は、学校施設のための記載となり、複合施設が含まれていない。現在、市長部局で複合施設の内容を検討しているため、今後改めて説明したいと考えている。

議題4 校庭・プールの利用について

○事務局

(資料3について説明)

○会長

事務局より、校庭・プールの利用について説明があった。各委員より意見・質問等を伺う。

○委員

校庭の代替として栄小学校の校庭を借りても良いのではないかと。過去に栄小学校と保谷第一

小学校の児童が校庭を使用して交流したことがある。合同体育などの実施は難しいか。

○会長

栄小学校も一定の規模があり、ほとんどの時間を栄小学校の児童が使用していると想定されるため、保谷第一小学校の児童を受け入れることは難しいと思われる。

○委員

栄小学校と保谷第一小学校の子どもは、青嵐中学校への進学が多いため、早い時期から交流があると良いと感じた。

○委員

低学年は健康広場、高学年は栄小学校など、学年によって分けることも良いのではないか。

○委員

すべての授業を栄小学校で行うことは難しいかもしれないが、週に1回など、選択肢の一つとして考えても良いと感じる。健康広場は、午前中、高齢の方が利用していることもあるため、すべての時間を学校で使用することは難しいと感じる。

○事務局

健康広場のみではすべてを対応しきれないと考えている。校庭やプールについては、どのように割り振れるかは検証していきたいと考えている。

○委員

プールの代替利用について、青嵐中学校のプールを温水にする工事等を行う予定はあるのか。

○事務局

現時点ではない。後から温水に変更できるかどうかも含め、研究を行う必要がある。

○委員

保谷第一小学校の後も市内で建替が続くことを考えるとプールの温水化は検討を行ってもよいと考える。

○事務局

まだ、研究中の部分もあるが、後から温水化している事例がある。一方で、青嵐中学校は可動式の屋根でもあることから、室温の管理も必要となる。引き続き、様々な要因を考慮しつつ検討していきたい。

○委員

プールについて、候補の3か所すべてを利用するのか、いずれか1か所を選ぶ想定なのか伺う。

○事務局

学校での使用時間や、各施設の利用可能範囲を整理し、1か所に対応可能であれば1か所で

対応していきたいと考えている。子どもたちの体育やプールの時間が施設の都合で減ることがないように、各所と調整していきたい。

○委員

校庭の利用について、地域のスポーツ活動や放課後の居場所の観点から、土日や放課後の利用についても考慮いただきたい。

○事務局

現時点では、複合する施設が未定のため、新校舎の必要面積が定まっていない状況にある。複合施設が示された段階で、校舎配置を検討することができるため、今後いただいたご意見を含め検討していきたい。

○会長

現在のプールは、建替えまで自校方式を継続していくのか。

○事務局

学校施設個別施設計画では、拠点校方式を示しているが、今後の見直しの中で、運用方法に変更があった場合には、お示ししていきたいと考えている。

議題 5 その他

○事務局

本日の議事要旨はこれまでの会議と同様、後日メールで送付させていただき、委員確認後の会議で了承を得て公開する。

次回は 12 月 11 日の午前 10 時からを予定している。詳細については改めて連絡する。

<閉会>